

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 ダイコク電機株式会社
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務セクタ長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

上場取引所 東 名

(氏名) 栢森 雅勝
 (氏名) 山下 陽
 配当支払開始予定日

TEL 0568-88-7111
 平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	29,473	45.8	3,988	151.9	4,156	150.5	2,272	211.8
21年3月期第2四半期	20,220	—	1,583	—	1,659	—	729	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	153.75	—
21年3月期第2四半期	49.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	52,816	27,448	51.9	1,853.86
21年3月期	55,546	26,060	46.8	1,759.92

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 27,406百万円 21年3月期 26,018百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	60.00	70.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,600	△7.0	3,200	△33.3	3,300	△33.9	1,400	△60.3	94.69

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 14,783,900株 21年3月期 14,783,900株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 196株 21年3月期 196株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 14,783,704株 21年3月期第2四半期 14,783,710株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産の持ち直しはあるものの、設備投資は減少しており、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、新規出店などの大きな設備投資は依然として低調でしたが、いわゆる1円パチンコ等の低貸玉営業は拡大を続けております。最近では、優良店も低貸玉営業に参入しており、パチンコホールでは、多様な営業形態を模索する動きがますます強くなってきております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチンコホールの多様な営業形態において有効な「楽pass」や「BIGMO」の活用提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、第3四半期に予定しておりました機種の販売が、第2四半期の販売となりました。

アミューズメントコンテンツ事業におきましては、コンシューマゲームでは、受託したゲームを中心に開発を行い、携帯電話ゲームでは、開発内容の見直しにより開発効率の追求を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高294億73百万円（前年同期比45.8%増）、営業利益39億88百万円（同151.9%増）、経常利益41億56百万円（同150.5%増）、四半期純利益22億72百万円（同211.8%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（情報システム事業）

当事業の第2四半期連結累計期間は、4月に開設したMIRAI GATEネットワークを活用したパートナーズセンタの評価が高く好業績に繋がりました。パートナーズセンタは、迅速かつ的確なメンテナンスに対応するためのメンテナンスデスクと、ホールコンピューティングシステム「CⅡ」を有効活用するための支援窓口となるCⅡデスクから成り、ホール支援サービスの強化に努めた結果、CⅡシステムの導入店舗が増加しました。また、ファンの利便性向上に役立つ、台毎計数システム「楽pass」や情報公開機器「BIGMO」の提案が受け入れられ、その他周辺機器と共に納入が進みました。

この結果、当事業の売上高は136億53百万円（前年同期比35.4%増）、営業利益は28億16百万円（同86.2%増）となりました。

（制御システム事業）

当事業の第2四半期連結累計期間は、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。また、第3四半期に予定しておりました機種の販売が第2四半期に早まり、販売が好調であったため、製品販売は119億94百万円（前年同期比100.1%増）、商品販売は31億99百万円（同4.3%減）となりました。

この結果、当事業の売上高は151億95百万円（同62.7%増）、営業利益は22億85百万円（同87.8%増）となりました。

（アミューズメントコンテンツ事業）

当事業の第2四半期連結累計期間は、海外メーカーから受注したゲームソフトが、北米のゲームショーであるE3の大賞にノミネートされる等、メーカーからの評価が高まり、国内の大手ゲームメーカーからの受注も進みましたが、前年同期の売上には達しませんでした。

この結果、当事業の売上高は6億33百万円（前年同期比20.7%減）、営業損失は77百万円（同38.8%減）となりました。

（注）事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ27億30百万円減少の528億16百万円となりました。

流動資産では、売上債権の資金化により現金及び預金が増加しましたが、前連結会計年度の第4四半期における売上計上が、当第2四半期連結会計期間より多かったこととともない受取手形及び売掛金が減少した結果、前連結会計年度末に比べ25億23百万円減少の374億7百万円となりました。

固定資産では、主に大きな取得がなかったことにより前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少の154億8百万円となりました。

負債では、前連結会計年度の第4四半期における仕入計上が当第2四半期より多かったこととともない支払手形及び買掛金の減少と、借入金の返済があった結果、前連結会計年度末に比べ41億18百万円減少の253億67百万円となりました。

純資産では主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ13億88百万円増加の274億48百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月5日に公表いたしました通期の業績予想を下記の通り修正いたしました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	46,600	2,600	2,700	1,200	81.17円
今回修正予想(B)	48,600	3,200	3,300	1,400	94.69円
増減額(B-A)	2,000	600	600	200	—
増減率(%)	4.3	23.1	22.2	16.7	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	52,282	4,799	4,991	3,523	238.33円

詳細につきましては、平成21年10月22日に公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,090,072	15,658,564
受取手形及び売掛金	12,470,945	16,771,079
商品及び製品	3,266,163	2,879,169
仕掛品	597,969	962,721
原材料及び貯蔵品	2,253,686	3,020,267
繰延税金資産	213,699	134,512
その他	572,647	564,651
貸倒引当金	△57,301	△59,329
流動資産合計	37,407,883	39,931,636
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,929,921	3,024,719
土地	2,504,956	2,506,956
その他(純額)	1,334,791	1,374,197
有形固定資産合計	6,769,669	6,905,873
無形固定資産		
ソフトウェア	1,181,468	1,271,543
その他	39,872	40,567
無形固定資産合計	1,221,341	1,312,110
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,803,350	2,804,111
繰延税金資産	1,479,563	1,590,844
長期預金	1,400,000	1,400,000
その他	1,951,002	1,807,563
貸倒引当金	△216,843	△206,197
投資その他の資産合計	7,417,073	7,396,322
固定資産合計	15,408,084	15,614,305
繰延資産	68	136
資産合計	52,816,036	55,546,079

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,610,920	18,949,027
短期借入金	4,764,988	5,084,992
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払法人税等	1,839,284	914,025
役員賞与引当金	177,975	167,116
その他	2,078,653	2,296,191
流動負債合計	23,871,821	27,811,353
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,200,000
退職給付引当金	38,448	32,163
役員退職慰労引当金	274,478	257,746
その他	183,084	184,708
固定負債合計	1,496,011	1,674,618
負債合計	25,367,833	29,485,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	26,046,781	24,660,873
自己株式	△491	△491
株主資本合計	27,400,298	26,014,391
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,642	3,790
評価・換算差額等合計	6,642	3,790
少数株主持分	41,261	41,925
純資産合計	27,448,202	26,060,106
負債純資産合計	52,816,036	55,546,079

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	20,220,579	29,473,468
売上原価	13,260,541	20,077,534
売上総利益	6,960,037	9,395,933
延払販売未実現利益控除	—	—
延払販売未実現利益戻入	23,774	7,576
差引売上総利益	6,983,812	9,403,510
販売費及び一般管理費	5,400,200	5,414,863
営業利益	1,583,611	3,988,646
営業外収益		
受取利息	9,788	12,411
受取配当金	6,774	5,376
受取ロイヤリティー	44,609	40,409
不動産賃貸料	54,048	52,642
その他	38,693	130,181
営業外収益合計	153,915	241,022
営業外費用		
支払利息	48,828	32,924
貸倒引当金繰入額	2,122	—
その他	27,096	40,227
営業外費用合計	78,048	73,152
経常利益	1,659,478	4,156,516
特別利益		
投資有価証券売却益	6,000	—
貸倒引当金戻入額	—	4,120
前期損益修正益	16,183	—
特別利益合計	22,183	4,120
特別損失		
固定資産売却損	—	9,830
固定資産除却損	23,989	12,268
投資有価証券評価損	13,201	—
貸倒引当金繰入額	—	17,350
会員権評価損	11,700	—
その他	755	2,502
特別損失合計	49,646	41,951
税金等調整前四半期純利益	1,632,015	4,118,685
法人税、住民税及び事業税	1,035,332	1,816,265
法人税等調整額	△108,840	30,153
法人税等合計	926,492	1,846,419
少数株主損失(△)	△23,554	△663
四半期純利益	729,078	2,272,929

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	情報システム事業 (千円)	制御システム事業 (千円)	アミューズメント コンテンツ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	10,083,972	9,338,594	798,012	20,220,579	—	20,220,579
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	180	—	—	180	(180)	—
計	10,084,152	9,338,594	798,012	20,220,759	(180)	20,220,579
営業利益又は 営業損失(△)	1,512,933	1,216,902	△126,999	2,602,835	(1,019,224)	1,583,611

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 情報システム事業

ホールコンピュータ、景品顧客管理システム、情報公開システム、工事収入等

(2) 制御システム事業

表示ユニット、制御ユニット、遊技機に使用される部品等

(3) アミューズメントコンテンツ事業

アミューズメント関連ソフト等

3 会計方針の変更

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益が、情報システム事業で19,266千円、制御システム事業で26,142千円それぞれ減少しております。

(2) 受注制作のソフトウェアの売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)が平成21年4月1日より前に開始する連結会計年度から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約については工事進行基準(工事進捗率の見積もりは原価比例法)を、その他の受注契約については検収基準を適用しております。

これにより、アミューズメントコンテンツ事業で、当第2四半期連結累計期間の営業利益が97,284千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	情報システム事業 (千円)	制御システム事業 (千円)	アミューズメント コンテンツ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	13,650,848	15,193,773	628,846	29,473,468	—	29,473,468
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,083	2,195	4,261	9,540	(9,540)	—
計	13,653,931	15,195,968	633,108	29,483,008	(9,540)	29,473,468
営業利益又は 営業損失(△)	2,816,475	2,285,923	△77,782	5,024,616	(1,035,970)	3,988,646

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 情報システム事業

ホールコンピュータ、景品顧客管理システム、情報公開システム、工事収入等

(2) 制御システム事業

表示ユニット、制御ユニット、遊技機に使用される部品等

(3) アミューズメントコンテンツ事業

アミューズメント関連ソフト等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。